

事業所名：グループホームすずらん

作成日： 令和2年 10月 28日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	長年、保育園児との交流もあり、ボランティアの方(ひよっこ踊等)の慰問を楽しんでいた。コロナ禍においても地域交流が途絶えることがないよう、ビデオ交流等の方法を検討していく予定である。	コロナ禍で中断している保育園児との交流やひよっこ踊の慰問などの地域交流を、実施できる方法を検討して再開に努める。	保育園やボランティア団体に出向く等して、どのような形で交流ができるか話し合いをする。すずらんとしては保育園児の活動やひよっこ踊等をビデオ録画したものを利用者様に見せて頂けないか提案し、関係機関の協力が得られるように努める。	6ヶ月
2	28	23領域のアセスメントが行われている。今後も生活歴・主訴・ADL・IADL・認知能力と共に、「できそうなこと」「介助理由」「各活動の要望」など、日頃把握できている内容を追記し、計画内容と連動させていく予定である。	アセスメントに「できそうなこと」、「介助理由」、「各活動の要望」など、日頃把握できている内容を今より更に具体的に記入するよう努める。	日ごろから利用者様の日常動作、表情や行動障害の状況等からその方のできる能力やできそうな能力、介助の理由、利用者様等からの要望などの把握に努め、それらをアセスメントに具体的に反映させるとともに、計画内容と連動させる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月